



東京湾を横断する「世界ドローンコンペ」が開催されます

～災害時を想定したドローンによる物流の長距離輸送を想定した飛行技術を競います～



横浜市は「IOTOP横浜」を通じた実証実験支援を行うことで、IoTやAIなどの先端技術を活用した生産性向上や社会課題の解決への貢献及び新たなビジネスモデルの創出に取り組んでいます。令和3年度には、「IOTOP横浜」が、横浜市・千葉市間（約50km）において行われた「一般財団法人先端ロボティクス財団」によるカイトプレーンを用いた無人航空機による東京湾縦断飛行の実証実験を支援しました。

このたび、**東京湾縦断飛行の知見を活用した世界ドローンコンペ（World Drone Competition：以下WDC）**が「一般財団法人先端ロボティクス財団」の主催により開催されます。

WDCでは八景島（金沢区）を**離発着地として八景島～富津みなと公園（千葉県富津市）間（往復約32km）を無着陸往復飛行し、飛行技術や災害発生を想定した被災者救援といった緊急ミッション**に取り組み、その技術を競います。

また、WDC会場や飛行の様子は、**パシフィコ横浜において42年ぶりに日本で開催される「第22回国際自動制御連盟世界大会」（以下：IFAC2023）**の会場内においても同時中継されます。

1. World Drone Competition の概要

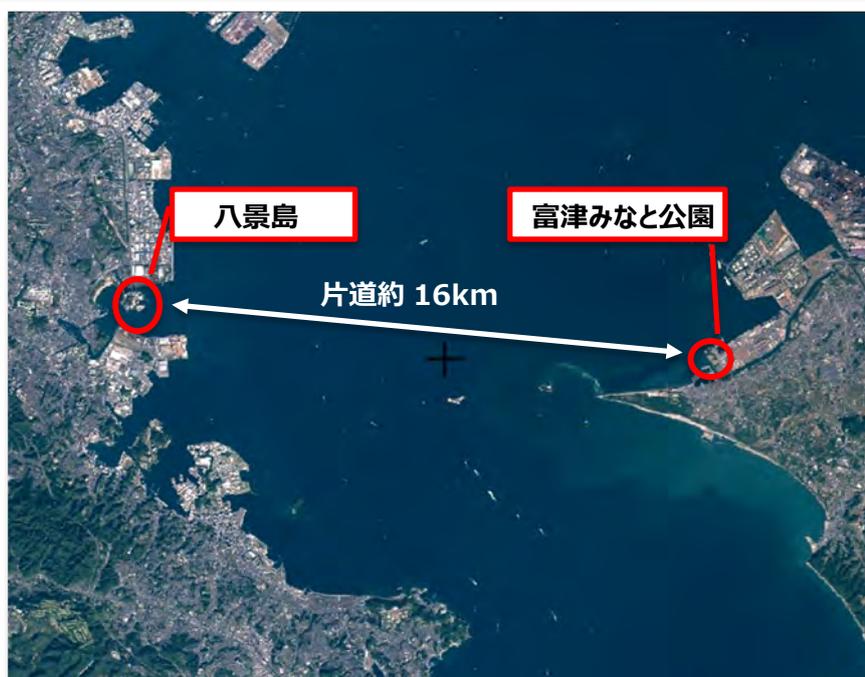
大会名	World Drone Competition (大会ウェブサイト URL ※英語のみ： https://www.ifac2023.org/program/competitions/world-drone-competition/)	
主催	IFAC2023 実行委員会、一般財団法人先端ロボティクス財団 (後援：横浜市経済局)	
実施日	令和5年7月11日(火) (予備日：12日(水)、13日(木)) ※ 天候状況や競技進行状況により予備日に実施します。	
場所	東京湾（横浜市金沢区八景島～千葉県富津みなと公園間 無着陸往復飛行）	
テーマ	ドローンによる災害対応・物流の長距離飛行ミッション	
出場チーム	計4チーム (日本2チーム、インドネシア1チーム、マレーシア1チーム)	

2. WDC 競技内容と競技ポイントについて

- (1) 富津みなと公園付近での災害発生を想定して出動したドローンレスキューチームが、以下の競技ポイント（(ア)～(エ)）について技術を競う。
 - (ア) 災害発生調査と被災状況調査の正確さ
 - (イ) 被災者が求める救援物資の内容精度
 - (ウ) 災害対応ミッションとしての迅速性
 - (エ) 治療薬の配送指定場所への投下の正確性
- (2) 1機の機体のみを使用し、離陸から着陸まで無給油、バッテリー充電なしで帰還する。
- (3) 治療薬を模した箱を富津みなと公園まで輸送し、富津みなと公園内の指定場所を空中から探索して正確に投下する。

※ 1チームごとに飛行と審査を行います（1チームあたり所要時間1時間～1時間30分）。

3. 飛行経路について



出典：国土地理院ウェブサイト

(<https://maps.gsi.go.jp/#12/35.321988/139.738369/&base=ort&ls=ort&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>) から作成

4. 当日の取材について

八景島での離発着や、富津みなと公園での災害調査の様子を取材いただけます。取材を希望される場合は、一般財団法人先端ロボティクス財団運営事務局（電話：03-5244-9810、またはメール：jimu@arf.or.jp）へ7月7日（金）15時 までにご連絡ください。

お問合せ先			
【I・TOP横浜に関すること】	経済局産業連携推進課長	岩船 広	Tel：045-671-2574
【WDCに関すること】	一般財団法人先端ロボティクス財団理事長	野波 健蔵	Tel：03-5244-9810

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。

【参考】

一般財団法人先端ロボティクス財団について

名称：一般財団法人 先端ロボティクス財団

理事長：野波 健蔵（千葉大学名誉教授・一般社団法人日本ドローンコンソーシアム会長）

所在地：東京都中央区新富2-1-7 富士中央ビル6階

事業内容：（1）次世代型先端ロボティクス分野の競技大会の実施（研究助成、賞金授与を含む）、及び普及活動

（2）先端ロボティクス分野における若手人材の育成

（3）上記に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業



I・TOP横浜（IoT オープンイノベーション・パートナーズ）について

【I・TOP横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）とは】

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



I・TOP横浜
IoT Open Innovation Partners YOKOHAMA

I・TOP横浜ウェブサイト
<https://itop.yokohama/>